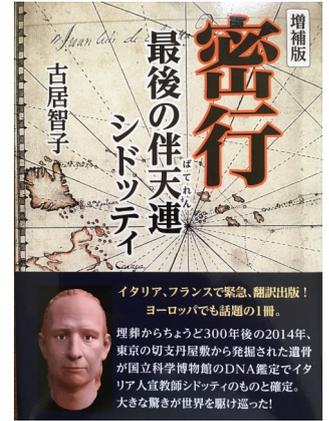


シドゥッティ神父 講演会

講演タイトル:『密行-最後の伴天連シドゥッティ』

講演内容: 300年という時を経て切支丹屋敷跡(東京文京区)から遺骨が発掘されたヨハン・バティスト・シドゥッティ神父(1668-1714)の生涯について、7年の歳月をかけて調べた話をお伝えします。

シチリアからローマ、マニラ、屋久島、長崎を經由し江戸で新井白石との運命的な出逢いを果たし『西洋紀聞』を書かせたひとりのイタリア人神父の短くも鮮烈な一生。そして日本人との魂の触れ合いの感動的な実話をご紹介しますことで、神父の偉業を多くの方に知っていただきたいと願っています。



古居智子著
増補版 2018年 敬文舎



イタリア語版

フランス語版

ミラノ、ローマ、パレルモ(シチリア島)にて講演(2017年10月)

講演時間: 1時間半-2時間 (質疑応答の時間を含む)

講演スケジュール: 双方の都合が合う日程を調整

講演旅費: 屋久島からの旅費(交通費・宿泊費)を希望しますが、難しい場合は、当方のスケジュールに合わせていただくかたちで、他の仕事でお近くに行く機会のある折にご相談の上、設定させていただきます。

講演料: ご相談の上、設定。

講師プロフィール



古居智子(ふるい・ともこ)

大阪生まれ。北海道大学卒。国費留学生として米国マサチューセッツ州立大学に学ぶ。札幌でのフリーライター、雑誌編集者の経験を経て、1988年から米国ボストンを拠点にジャーナリストとして活躍。1994年屋久島恋泊に移住。2001年NPO法人屋久島エコ・フェスタを設立。環境保護活動に励みながら、日本と欧米の交流史や屋久島の歴史、文化、自然などをテーマに執筆活動を続けている。著書に『夢みる島「赤毛のアン」』(文藝春秋社)、『屋久島 恋泊日記』(南日本新聞社)、『屋久島 島・ひと・昔語り』(南日本新聞開発センター)、『ウィルソンの屋久島—100年の記憶の旅路』(KTC中央出版)、『ウィルソンが見た鹿児島—プラント・ハンターの足跡を追って』(南方新社)、『ウィルソン 沖縄の旅 1917』(琉球新報社)など多数。ホームページ<http://www.t-furui.jp>